

令和3年6月定例会運営日割

月 日	曜	時 間	会 議 名	備 考
6月 7日	月	9:30	議会運営委員会	議案等上程説明聴取
		10:00	本 会 議	
8日	火			休 会 (議案等質疑通告正午まで)
9日	水	9:30	議会運営委員会	議案等質疑 一部議決 委員会付託
		10:00	本 会 議	
		本会議終了後	広報広聴委員会	
10日	木	9:30	建設経済常任委員会	
11日	金	9:30	厚生環境常任委員会	
12日	土			休 会
13日	日			休 会
14日	月	9:30	子ども文教常任委員会	
15日	火	9:30	総務常任委員会	
16日	水	9:30	補正予算常任委員会	
17日	木	9:30	議会運営委員会	
		議会運営委員会 終了後	広報広聴委員会	
		広報広聴委員会 終了後	議会改革推進会議	
		15:00	議会史編さん委員会	
18日	金			休 会
19日	土			休 会
20日	日			休 会
21日	月	9:30	議会運営委員会	常任委員会等報告 議決 一般質問
		10:00	本 会 議	
22日	火	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
23日	水	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
24日	木	9:30	議会運営委員会	一般質問
		10:00	本 会 議	
25日	金	9:30	議会運営委員会	一般質問 追加議案上程説明 委員会付託 常任委員会報告 議決
		10:00	本 会 議	
		本会議休憩中	補正予算常任委員会	
		本会議終了後	広報広聴委員会	

子ども文教常任委員会日程

日時 令和3年6月14日（月）

午前9時30分

場所 第1議会委員会室

- 1 報 告
- (1) 村岡公民館等再整備事業の進捗状況について（生涯学習部）
 - (2) 藤沢市スポーツ都市宣言（案）について（生涯学習部）
 - (3) 待機児童の状況と今後の取組等について
 - (4) 藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画（案）について（教育部）

村岡公民館等再整備事業の進捗状況について

村岡公民館等再整備事業については、藤沢市公共施設再整備基本方針及び藤沢市公共施設再整備プランに基づき、公民館施設に地域包括支援センター等を含めた複合施設として移転による再整備を計画しており、令和2年度からは、平成31年3月に策定した「村岡公民館等再整備基本構想」の基本理念・基本方針及び詳細の整備条件等を確認したうえで、昨年9月には設計業務に着手し基本設計に取り組んできました。

今回は、基本設計業務における浸水防止対策と配置計画の検討状況及び今後の予定等について報告するものです。

1 これまでの取組について

- 令和2年 6月 子ども文教常任委員会において事業の進捗状況について報告
- 9月 村岡公民館等再整備設計業務着手
- 12月 村岡公民館等再整備に伴う地質調査着手（令和3年3月まで）
- 令和3年 1月 第12回村岡公民館再整備建設検討委員会（以下、「建設検討委員会」という。）を開催
- 2月 第13回建設検討委員会を開催
- 3月 第14回建設検討委員会を開催

2 設計業務の進捗状況について

(1) 浸水防止対策の考え方について

基本構想で提案された、ピロティ案、盛土案、盛土＋止水板案、耐水扉案、擁壁＋止水板案を、それぞれ費用対効果や施工上の課題、バリアフリー環境の確保といった視点から再検証した結果、本事業においては、1階床部分の標高を浸水想定レベル（最大：標高10.55メートル）より高く設定するとともに、基礎部分の周囲及び市道に接する部分を盛土によりかさ上げする手法により公民館施設への浸水防止を図ることが、最も効果的であるとの判断に至りました。[資料2（1）、（2）]

(2) 配置計画について

基本構想で定めた基本理念や基本方針を具現化できる施設であるか否か、また、浸水対策、建設コスト、避難場所までの動線、車両・歩行者アクセスなどの評価指標による比較検討を行い、建設検討委員会へ提案する建物配置プランを3案に絞り込みました。[資料2（3）]

3 建設検討委員会における検討状況について

第12回建設検討委員会では、前述の建物配置プラン3案を提示し、設計事務所から詳細の説明を行うとともに、委員による協議・意見交換を行いました。その結果、建設検討委員会としては、①建物南側の空地や雨天時にも活用可能なピロティが配置されており、基本構想策定時に最も時間を費やした基本理念・基本方針を最も具現化したプランであること、②想定を上回る浸水被害があった場合にも指定緊急避難場所（洪水・崖崩れ）としての機能を確保できる配置であること、③バリアフリーに配慮した構内動線が確保されていることなどの理由から、C案を基本として、配置・平面計画を成熟させていきたいとの意向が示されました。[資料2(4)]

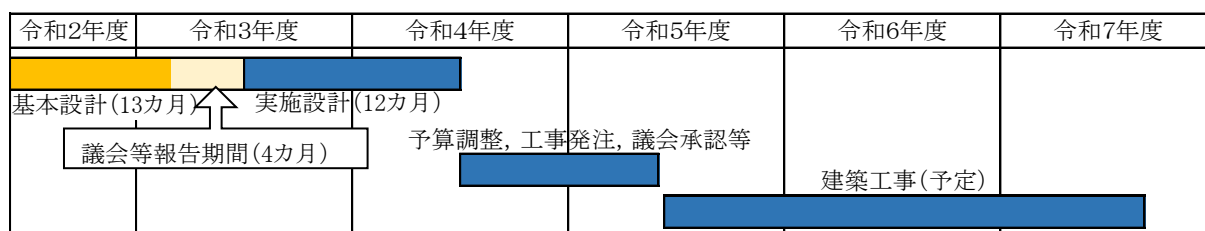
その後、第13回及び第14回建設検討委員会では、建物内の諸室配置について意見交換を行い、基本構想時に検討した諸室や機能の相関関係による配置を踏まえるとともに、既に確認している諸室面積をもとに諸室配置の検討を進めています。[資料2(5)]

4 地質調査について

昨年12月から今年3月にかけて実施した地質調査の結果、事業予定地は一部軟弱な地盤が見られましたが、概ね良好な地盤が広がっていることが確認できました。調査結果に基づく具体的な建物の基礎構造等については、実施設計の中で検討していきます。

5 今後のスケジュールについて

- 【令和3年度】 7月以降 住民説明会等開催
 9月 子ども文教常任委員会において基本設計について報告
 10月 実施設計業務着手（令和4年9月まで）

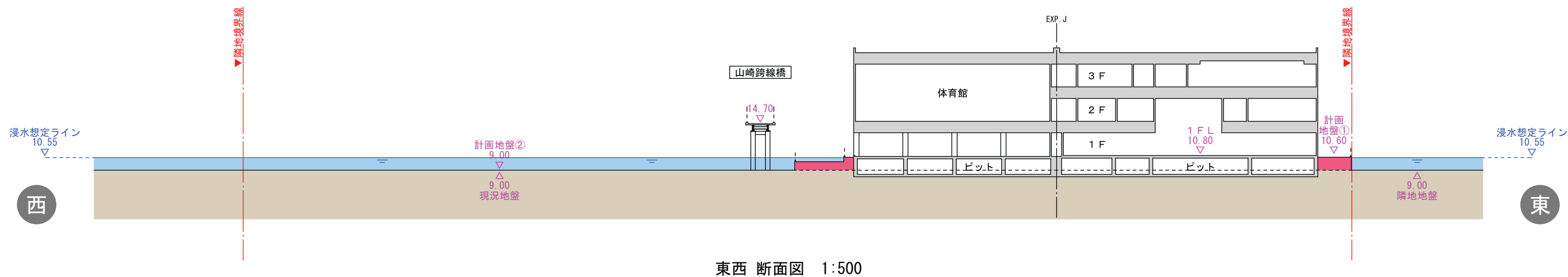
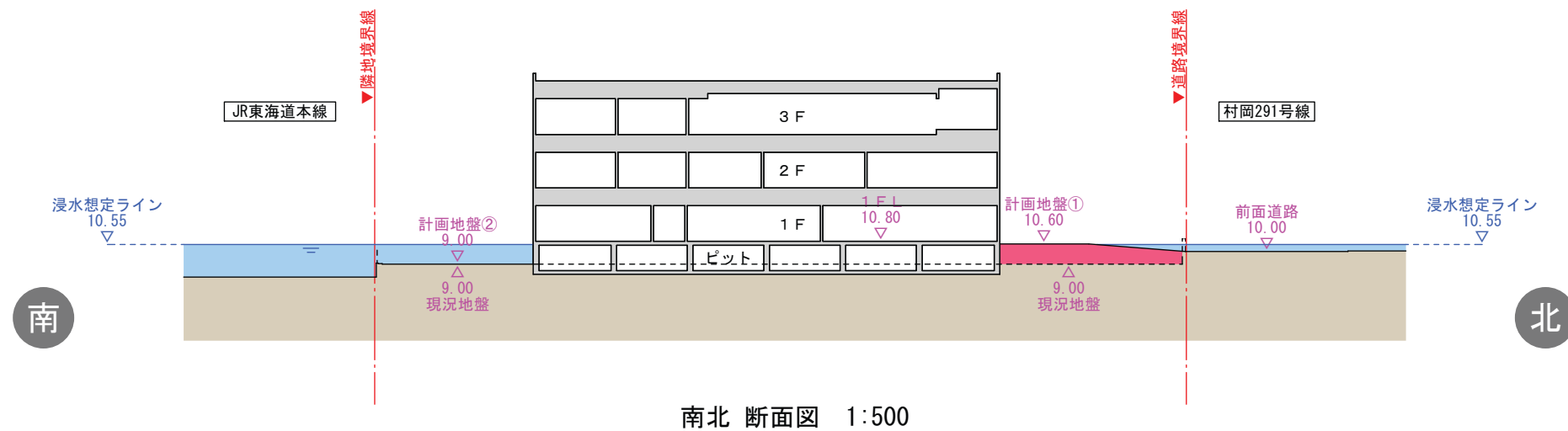


以上

【事務担当】生涯学習部 生涯学習総務課 村岡公民館

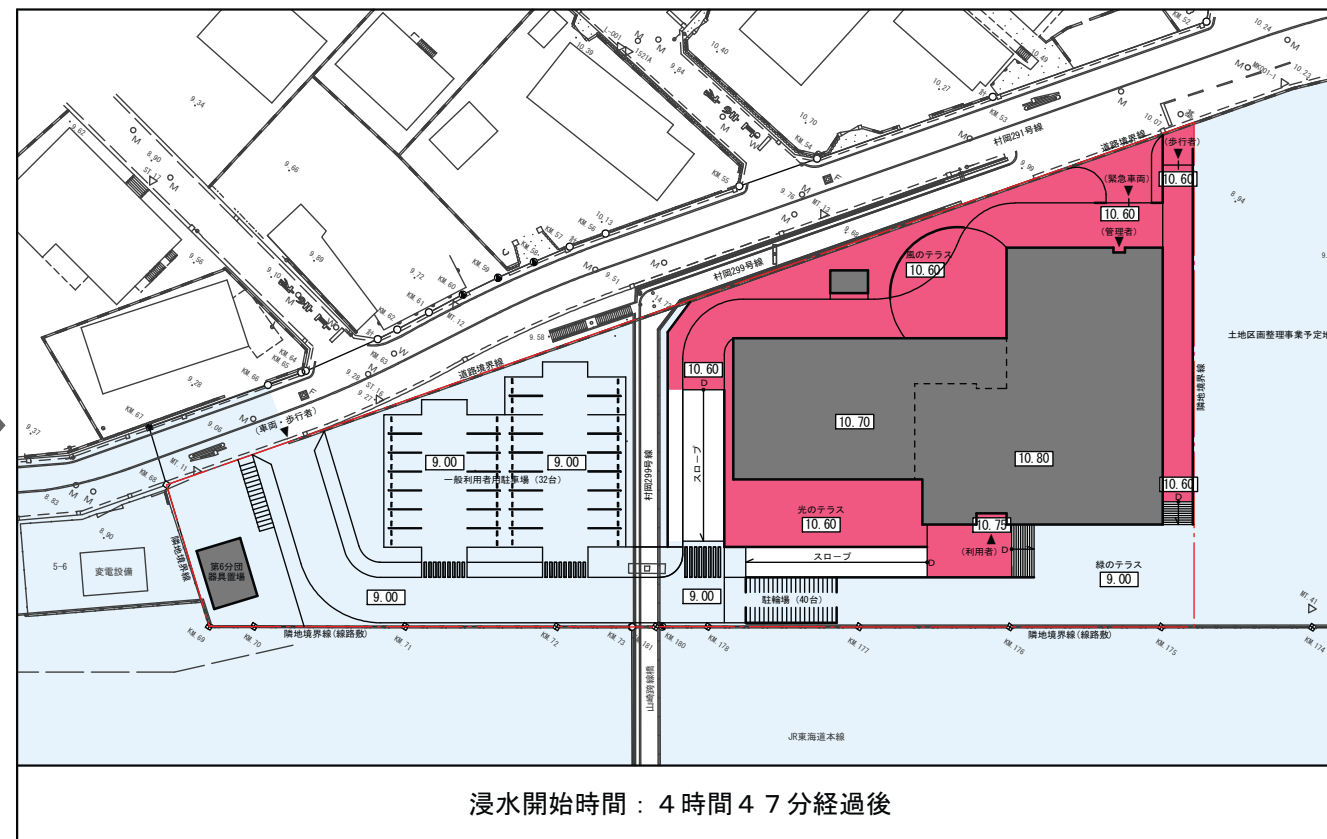
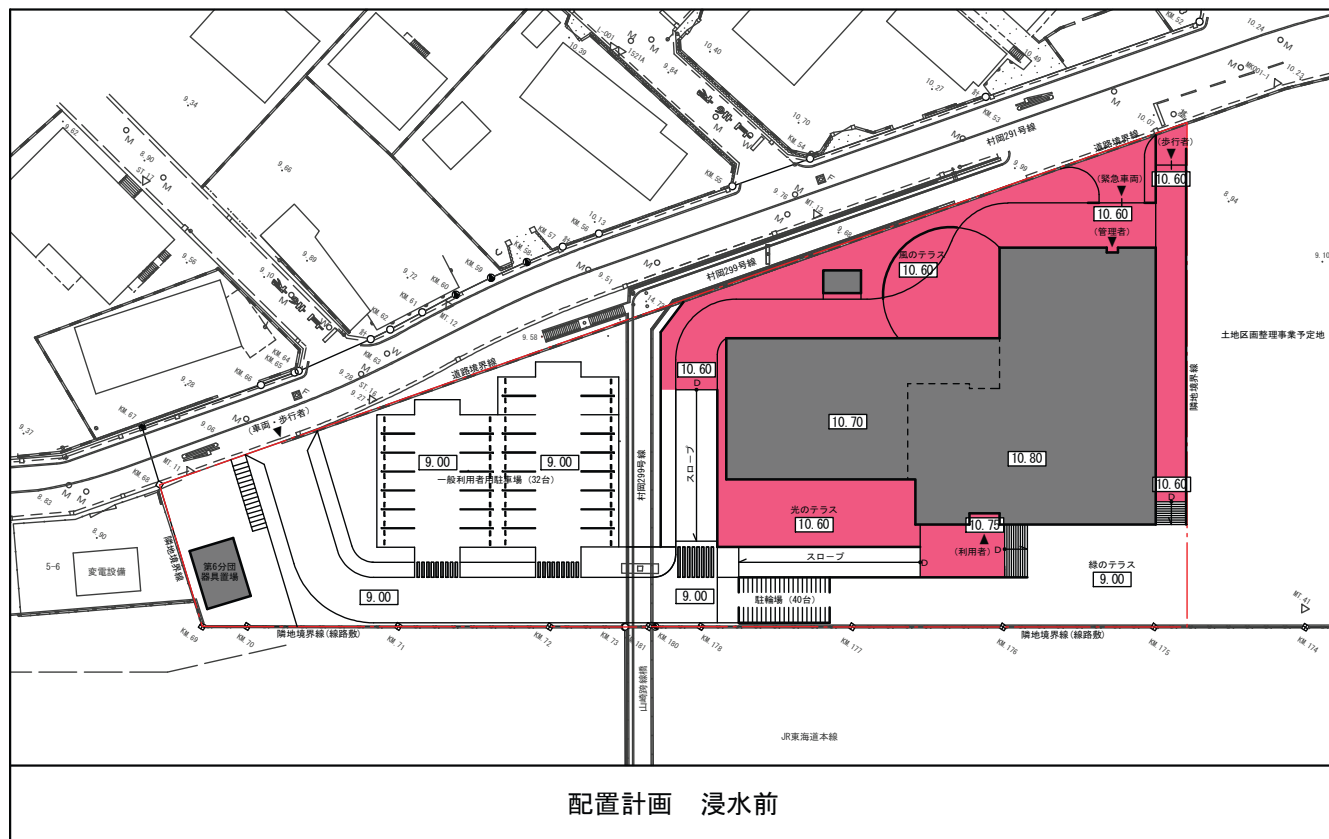
村岡公民館等再整備事業の進捗状況について

(浸水時建物断面図・浸水シミュレーション・配置計画案比較表・建物配置図(案)・平面図(案))

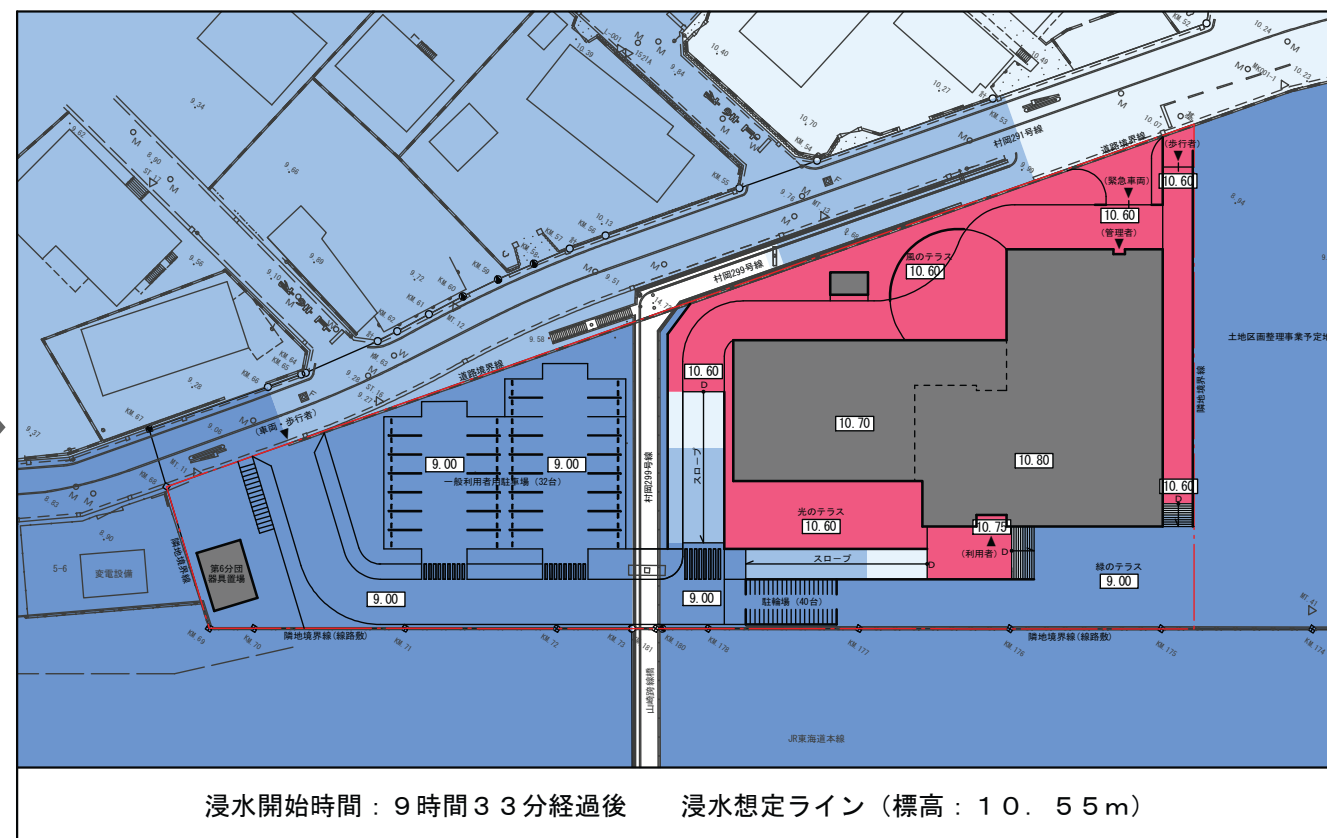
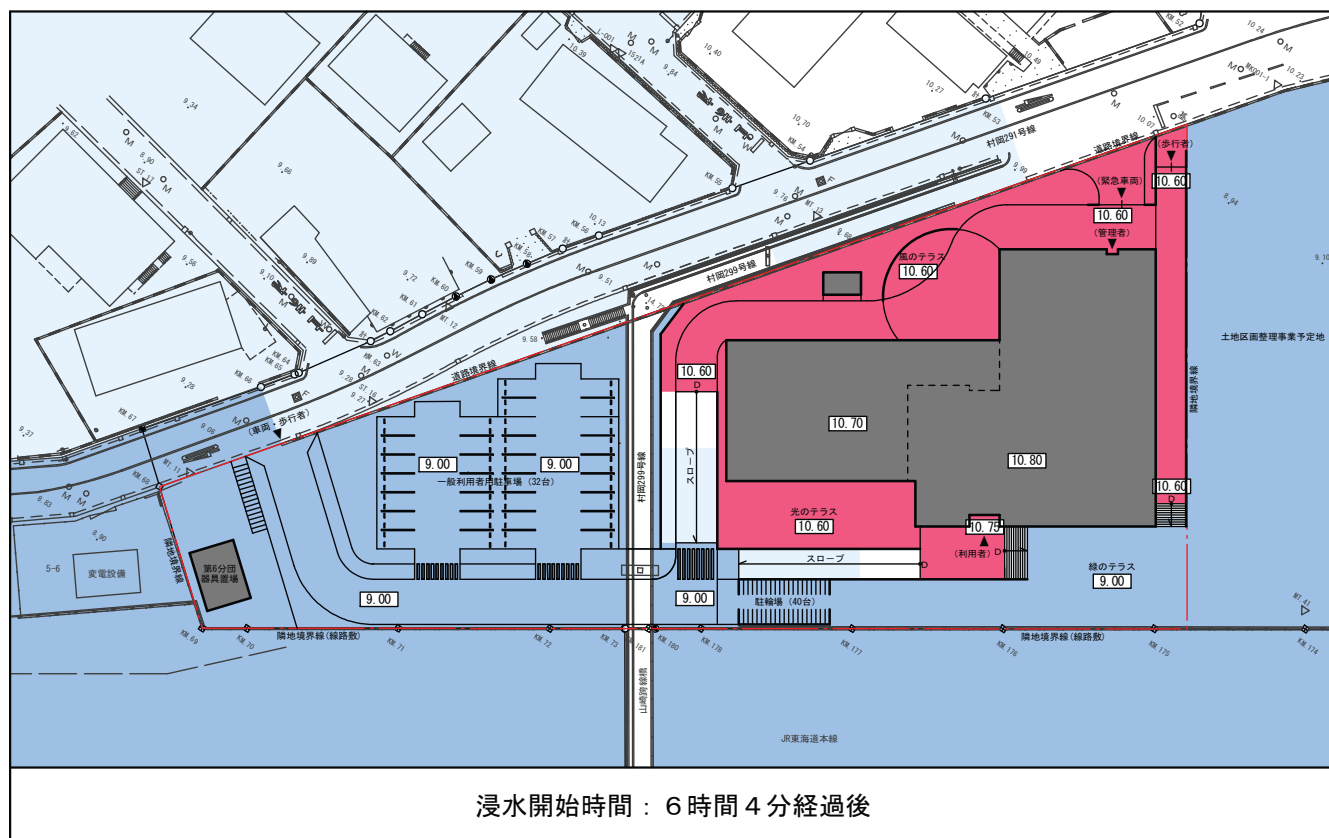


- : 盛土を示す
- : 現況地盤を示す
- : 浸水時の状況を示す
(標高10.55まで浸水)

※浸水想定ラインは「国土交通省 地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)」による

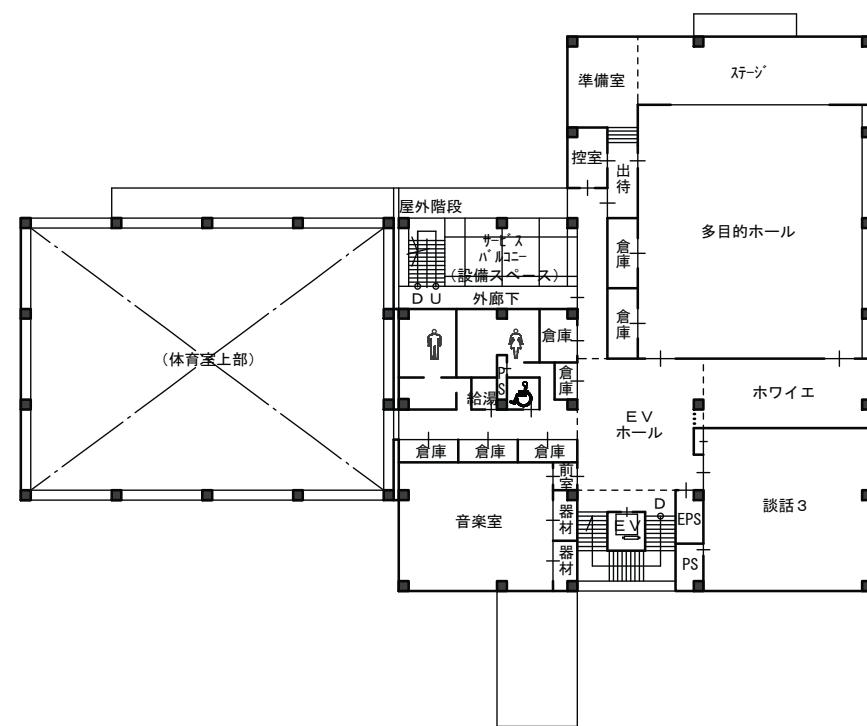
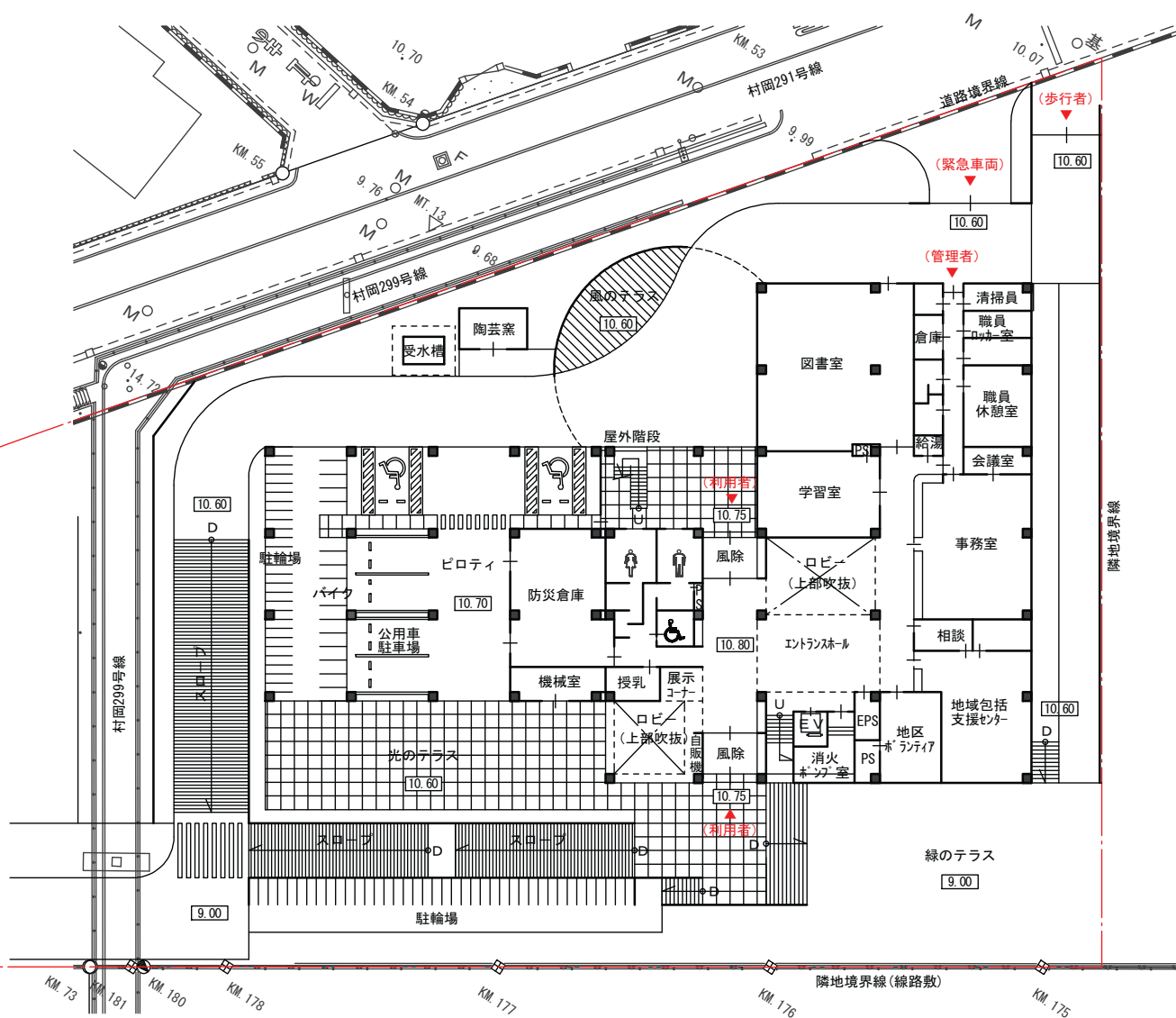
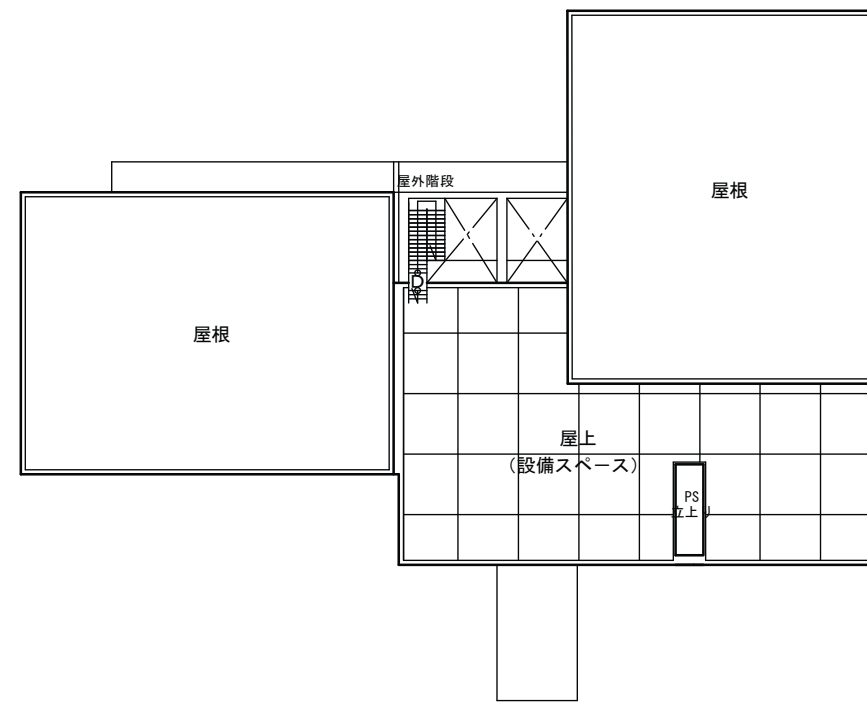
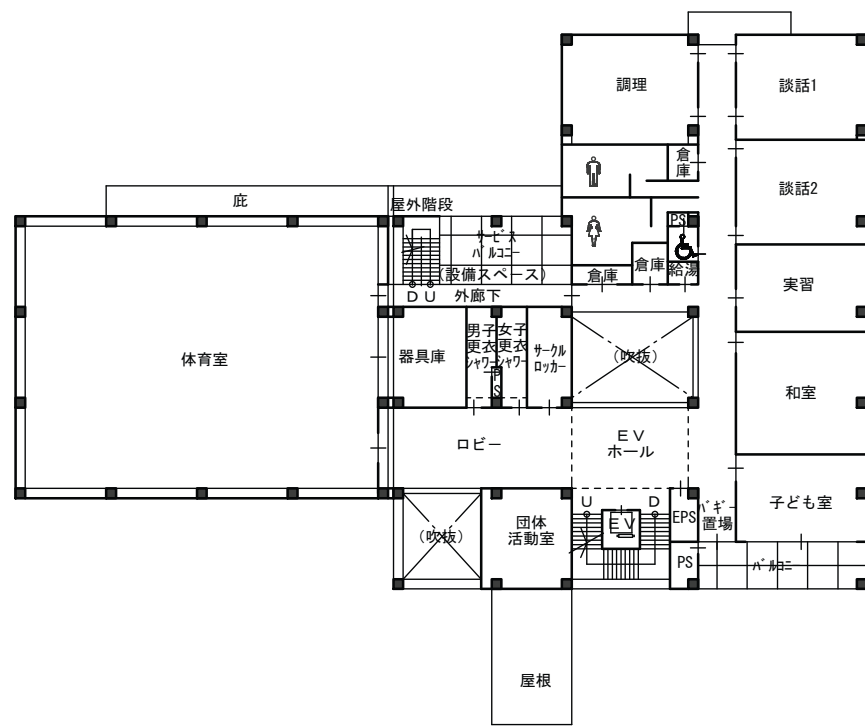


浸水深さ 0.0~0.5m未満
0.5~1.0m未満
1.0~1.5m未満



		A 案	B 案	C 案
<p>配置図 縮尺 1:1,250</p> <p>歩行者の動線を示す 車両の動線を示す バイク・自転車の動線を示す</p>				
<p>駐車台数等</p>		一般車両：28台 車いす用：1台 公用車用：4台 自転車：60台 バイク：15台	一般車両：32台 車いす用：2台（ピロティ） 公用車用：4台（ピロティ） 自転車：72台（内32台ピロティ） バイク：23台（ピロティ）	一般車両：32台 車いす用：2台（ピロティ） 公用車用：4台（ピロティ） 自転車：64台（内24台ピロティ） バイク：18台（ピロティ）
<p>断面図 縮尺 1:1250</p> <p>盛土を示す 現況地盤を示す 浸水時の状況を示す（標高10.55まで浸水）</p>				
比較検討	1 浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> 計画建物の北側を盛土し、浸水想定ラインより高いレベルに設定 1階F.L.を浸水想定ラインより高いレベルに設定 浸水時も通常出入口（風除室）から入館可能 	<ul style="list-style-type: none"> 計画建物の北側、南側の一部を盛土し、浸水想定ラインより高いレベルに設定 1階F.L.を浸水想定ラインより高いレベルに設定 浸水時も通常出入口（風除室）から入館可能 	<ul style="list-style-type: none"> 計画建物の北側、南側の一部を盛土し、浸水想定ラインより高いレベルに設定 1階F.L.を浸水想定ラインより高いレベルに設定 浸水時も通常出入口（風除室）から入館可能
	2 避難場所（体育室） ・設置階・アクセス方法	<ul style="list-style-type: none"> 1階 風除室から入館し、そのまま体育室へ 	<ul style="list-style-type: none"> 2階 風除室から入館し、階段・EVで2階へ 浸水時、災害時は屋外階段を利用し、バルコニーから直接入室可能 	<ul style="list-style-type: none"> 2階 風除室から入館し、階段・EVで2階へ 浸水時、災害時は屋外階段を利用し、バルコニーから直接入室可能
	3 駐車場からの歩行者のアクセス	<ul style="list-style-type: none"> 一般駐車場から風除室まで雁行した経路 スロープを利用したバリアフリー動線がかなり長い 	<ul style="list-style-type: none"> 一般駐車場から風除室まで直線の経路 スロープを利用したバリアフリー動線が明快 	<ul style="list-style-type: none"> 一般駐車場から風除室まで直線の経路 スロープを利用したバリアフリー動線が明快
	4 駐車場・駐輪場車両動線	<ul style="list-style-type: none"> 車いす用を1台分確保 	<ul style="list-style-type: none"> 車いす用を2台分確保 ピロティを利用した駐車場計画 車いす駐車場までの動線が長く複雑 	<ul style="list-style-type: none"> 車いす用を2台分確保 ピロティを利用した駐車場計画
	5 公用車駐車場と管理エリアの配置	<ul style="list-style-type: none"> 公用車駐車場から計画建物が離れている 浸水時は水没 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定ラインよりも高いレベルに配置 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定ラインよりも高いレベルに配置
	6 緑地・広場の確保	<ul style="list-style-type: none"> まとまった広場1か所を建物の北側に計画 	<ul style="list-style-type: none"> 広場スペースを確保できていない 車路が増えるため、緑地面積を確保しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> まとまった広場を建物の南側に2か所、小規模の広場を建物の北側に1か所計画
	7 建物南側の広がり	<ul style="list-style-type: none"> 計画建物と敷地境界（JR）の距離：6m程度 駐輪場、緑地として利用 	<ul style="list-style-type: none"> 計画建物と敷地境界（JR）の距離：10.5m程度 歩行者通路、車路、緑地として利用 	<ul style="list-style-type: none"> 計画建物と敷地境界（JR）の距離：公民館部分13.5m程度、体育室部分19.5m程度 歩行者通路、駐輪場、広場（緑地等）として利用
	8 構造計画の複雑性	<ul style="list-style-type: none"> 体育室部分とそれ以外をEXP. Jで分割 基礎のレベルが全て揃う 	<ul style="list-style-type: none"> 体育室部分とそれ以外をEXP. Jで分割 一部ピロティ形式 基礎のレベルが全て揃う 	<ul style="list-style-type: none"> 体育室部分とそれ以外をEXP. Jで分割 一部ピロティ形式 基礎のレベルが全て揃う
	9 建設コスト	<ul style="list-style-type: none"> B案、C案と比較して特殊な構造、工法等によるコストアップは特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ピロティ部分の整備、及び体育室を2階に配置することによる構造躯体ボリュームの増によるコストアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ピロティ部分の整備、及び体育室を2階に配置することによる構造躯体ボリュームの増によるコストアップ





藤沢市スポーツ都市宣言（案）について

「藤沢市スポーツ都市宣言」は、藤沢のまちが、スポーツを楽しむ元気な市民であふれ、子ども、高齢者、障がい者など、市民一人ひとりが「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツに親しみ、生涯にわたって心身ともに健康で豊かなスポーツライフを楽しめるようにすることを理念として制定してまいります。

また、「する」「観る」「支える」スポーツをさらに推進し、将来にわたるまちのにぎわいの創出、経済の活性化、地域交流の促進へと繋げていきます。

このことについては、本年2月の市議会定例会子ども文教常任委員会において、宣言に至る経緯や目指す方向性、藤沢市スポーツ推進審議会での主な意見・検討状況などを報告いたしました。

その後、審議会での審議、幅広い分野の団体へのアンケートの調査結果をもとにした、宣言文（案）がまとまりましたので報告するものです。

1 都市宣言のポイント

(1) 宣言名

藤沢市における既存の都市宣言名との整合性を図り「〇〇都市宣言」とシンプルでストレートに伝わる表現としています。

(2) サブタイトル

生涯にわたって心身ともに健康でスポーツを楽しむ元気な市民であふれ、生き生きとしたにぎわい豊かなまちになるよう、藤沢市が目指す方向性を端的に表現しています。

(3) リード文

スポーツを通じて「健康寿命日本一」「スポーツ活動の充実」「共生社会の推進」「まちのにぎわいの創出」といった目標を掲げ、藤沢市として取り組む決意を込めています。

(4) 標語

これまでも掲げてきた「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツを、の考えのもと、一つ一つの標語に藤沢市が目指す目標を示しています。

◎【スポーツに親しみ 元気で明るくすごします】

子どもから高齢者まで幅広い世代の人たちがスポーツに親しみ、心身ともに健康になることで「健康寿命日本一」を目指します。

◎【スポーツを楽しみ 気持ちよく体を動かします】

市民のスポーツ活動を支援するとともに、スポーツに関する環境を整えることで「スポーツ活動の充実」を目指します。

◎【スポーツにふれあい 支えあう輪を広げます】

スポーツに関するボランティアの育成や、障がい者スポーツへの理

解・活動を通じて、「共生社会の推進」を目指します。

◎【スポーツを愛し にぎわいのある住みよいまちをつくります】

プロスポーツに対する支援や全国大会などの大規模な大会を誘致することで、市内経済の活性化や地域交流を促進し、「まちのにぎわいの創出」を目指します。

2 アンケート調査の実施

藤沢市スポーツ推進審議会において検討された素案をもとに、宣言名・サブタイトル・標語などについて、幅広い分野の団体に意見・提案をいただくため、アンケート調査を実施しました。

(1) 調査期間 2021年3月11日(木)～3月31日(水)

(2) 依頼団体一覧

分野	団体名
スポーツ関係	藤沢市体育協会 藤沢市レクリエーション協会 藤沢市スポーツ少年団本部 藤沢市地区社会体育振興協議会 藤沢市スポーツ推進委員協議会 藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会 藤沢市みらい創造財団スポーツ事業部 スペシャルオリンピックス日本・神奈川
青少年・高齢者関係	藤沢市老人クラブ連合会 藤沢市みらい創造財団青少年事業部
商工・観光関係	藤沢商工会議所 藤沢市商店会連合会 藤沢青年会議所 藤沢市観光協会
福祉・医療関係	藤沢市社会福祉協議会 藤沢市医師会 藤沢市保健医療財団
教育関係	藤沢市教育委員会教育委員 藤沢市立小・中学校校長会 藤沢市社会教育委員

3 主な意見・提案

(1) 宣言名・サブタイトルについて

- ・宣言名は「藤沢市スポーツ都市宣言」がシンプルで良いと思う。
- ・「スポーツライフの確立」という文言は、硬い表現に感じる。

(2) リード文について

- ・リード文の「生き生きとしたにぎわい豊かなまち」標語の「にぎわいのある住みよいまちをつくる」は、商店街の発展にもつながる文言が良い。
- ・「豊かなスポーツライフの確立」→「豊かなスポーツライフの実現」が適当だと思う。

(3) 標語について

- ・誰が見ても分かりやすく良いと思う。
- ・「気持ちよく汗をながします」の「汗」という表現は、快い印象を与えない可能性があるため、表現を変えたほうが良い。

(4) 宣言全般について

- ・全体的に覚えやすい表記であると賛同します。
- ・共生社会の実現、スポーツボランティアの活用、スポーツツーリズムによる経済波及などを表現してもらいたい。

(5) その他

- ・43万の市民が健康でいられるよう、楽しくスポーツ等ができる環境を整えてほしい。
- ・スポーツ都市宣言なので、スポーツを通じた「地域社会・コミュニティづくり」の視点を盛り込んで良いのではないかと思う。

各団体からの様々な意見・提案については、スポーツ都市宣言を基本理念とする新たなスポーツ推進計画にも反映してまいります。

4 今後のスケジュール

令和3年	6月	市議会6月定例会子ども文教常任委員会にて報告
	7月	パブリックコメントの実施
	9月	市議会9月定例会議案提出
	10月	藤沢市スポーツ都市宣言の制定
	11月	記念式典開催（予定）

以 上

（事務担当 生涯学習部 スポーツ推進課）

(※宣言名)

藤沢市スポーツ都市宣言 (案)

(※サブタイトル)

～健康で豊かなスポーツライフの実現をめざして～

2021年10月1日宣言 (予定)

(※リード文)

私たちが愛する藤沢のまちが、スポーツを楽しむ市民であふれ、生き生きとしたにぎわい豊かなまちになるよう、市民一人ひとりが多様性を尊重し、元気にスポーツをすることで、生涯にわたって心身ともに健康で豊かなスポーツライフの実現をめざし、オリンピック・レガシーを未来へ繋ぐため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

(※標語)

「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」

- ー スポーツに親しみ 元気で明るくすごします
- ー スポーツを楽しみ 気持ちよく体を動かします
- ー スポーツにふれあい 支えあう輪を広げます
- ー スポーツを愛し にぎわいのある住みよいまちをつくります

藤沢市スポーツ都市宣言（案）



いつでも
どこでも
だれでも
いつまでも

スポーツに親しみ 元気で明るくすごします

健康寿命日本一

スポーツを楽しみ 気持ちよく体を動かします

スポーツ活動の充実

スポーツにふれあい 支えあう輪を広げます

共生社会の推進

スポーツを愛し にぎわいのある住みよいまちをつくります

まちのにぎわい創出

スポーツ
分野

健康で豊かな

スポーツライフの実現

商工・観光
分野

福祉・医療
分野

市政運営の総合指針

教育振興基本計画

スポーツ推進計画「みらいふじさわ元気プラン」

スポーツの意義・価値の浸透
東京2020大会レガシーの未来への継承

生涯学習ふじさわプラン

健康増進計画「元気ふじさわ健康プラン」

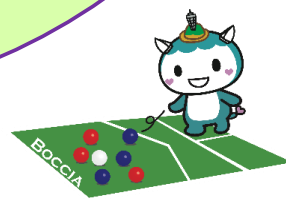
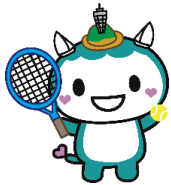
文部科学省「スポーツ立国戦略」

【する】【観る】【支える】スポーツのさらなる推進

スポーツ活動の充実
ソフト・ハード
両面の環境整備

まちのにぎわい創出
プロスポーツの支援
大規模大会の誘致

地域交流の促進
多様性の尊重
ボランティア養成・活用



藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画（案）について

藤沢市教育委員会では、学校施設の安全の確保を最優先に、老朽解消の対策である再整備事業、また、既存施設の適正な管理、運営にかかる各種改修工事の計画的な実施を目的として、実施計画を策定しています。

この度、「藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画」（案）を作成したので、報告するものです。

1 計画策定の経緯

藤沢市教育委員会では、平成26年度に策定した「藤沢市立学校施設再整備基本方針」に基づき、平成27年度に「藤沢市立学校施設再整備第1期実施計画」（以下「第1期実施計画」という。）を策定し、計画期間を5年間として、再整備事業の実施に向け、小学校4校、中学校2校の対象校について、学校ごとの整備手法等を検討し、六会中学校屋内運動場再整備事業、鵠南小学校等再整備事業の2事業を着手しました。

第2期実施計画では、第1期実施計画の計画期間終了に伴い、令和3年3月に改定した「藤沢市立学校施設再整備基本方針～学校施設の長寿命化に向けて～」に基づき、「第3次藤沢市公共施設再整備プラン」に位置づけられる予定の学校を含む10校を対象校として、学校施設の再整備事業等の計画的な実施を目指すものです。

2 藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画（案） 資料2のとおり

- | | |
|---------------------------|---------------|
| (1) 老朽施設の解消 | P 4 ～ P 3 1 |
| (2) 既存施設の適正な管理、運営にかかる整備計画 | P 3 1 ～ P 3 2 |
| (3) 学校の適正規模・適正配置の検討 | P 3 3 |

3 今後の予定

- | | |
|----------|-------------------------|
| 2021年 6月 | ・市議会定例会子ども文教常任委員会において報告 |
| 7月 | ・市教育委員会定例会において議案を上程 |

以 上

（事務担当：学校施設課）

一般質問の件名及び要旨

令和3年6月定例会

番号	質問者氏名	件名	要旨
1	堺 英明	1 市長の政治姿勢について	(1) 新体制による市政運営の取組みについて
2	塚本昌紀	1 新型コロナ対策について	(1) ワクチン接種と安心の地域医療について
		2 地域の交通安全について	(1) 信号のない横断歩道の安全対策について
		3 定住人口対策と地域活性化について	(1) マッチングアプリを活用した婚活事業について
3	杉原栄子	1 未来の藤沢を支える子ども達を支える施策について	(1) 子どもたちのコミュニケーション能力、交渉力（非認知能力）などの獲得に向けた取組について（教育部）
4	清水竜太郎	1 公園行政について	(1) 「ボール遊びができる」自由な遊び場づくりについて
5	栗原貴司	1 災害対策について	(1) 浸水対策について
		2 市内経済について	(1) 地産地消の取組について
6	神尾江里	1 今こそ考えたい『多様性と包摂性のある社会』に向けて	(1) 全ての人を社会的孤立や排除から守り、多様性と包摂性のある社会の実現に向けた『インクルーシブ条例』の制定について
		2 子どもや若者の主体的な学びを生かす新たな消費者教育について	(1) 民法の成年年齢引き下げに伴う消費者被害の未然防止・拡大防止等に向けた取組について（教育部）
7	北橋節男	1 藤沢市のデジタル化によるコロナ対策	(1) 市民センター・公民館について (2) 学校のタブレット活用について（教育部）

番号	質問者氏名	件名	要旨
8	永井 譲	1 依存症について	(1) スマホ・ゲーム依存症に関連する諸課題について（教育部）
9	山口 政哉	1 観光施策について	(1) 海水浴場について（生涯学習部） (2) コロナ禍の観光について
10	味村 耕太郎	1 市長の政治姿勢について	(1) 自治体行政のデジタル化について (2) スーパーシティ構想について
11	石井 世悟	1 防災政策について	(1) 災害時の避難について (2) 災害支援体制について
		2 公園政策について	(1) インクルーシブ公園について (2) 公園の在り方について
12	谷津 英美	1 化学物質過敏症の対応について	(1) 公共施設について（教育部）
		2 HPVワクチン接種について	(1) 情報提供の取り組みについて
13	井上 裕介	1 行政の効率化について	(1) 事務処理等の課題について
		2 公共嘱託登記土地家屋調査士業務について	(1) 現状と課題について
14	山内 幹郎	1 五輪大会中止の申し入れについて	(1) 藤沢市の五輪大会前の現状と問題点（生涯学習部） (2) 大会中止の申し入れについて（生涯学習部）
		2 児童生徒への生理用品提供と配布方法について	(1) 現状と市民要望への対応について（教育部） (2) 近隣自治体の動向について（教育部） (3) 権利性について（教育部）
		3 コロナ禍の経済対策について	(1) 国の一次支援金制度および市の中小企業事業継続支援金制度について (2) 商店の要望と将来展望について

番号	質問者氏名	件名	要旨
15	西 智	1 デジタル・ガバメントについて	(1) 行政手続のデジタル化について (2) 行政手続のオンライン化について
		2 教員による性犯罪・性暴力対策について	(1) わいせつ事案の根絶について（教育部） (2) 生命の安全教育について（教育部）
16	武藤 正人	1 住民福祉の増進について	(1) 感染症と防災・減災の取り組みについて (2) 社会的孤独・孤立の取り組みについて
17	友田 宗也	1 新型コロナウイルス感染症における本市の対応について	(1) まん延防止等重点措置における市内飲食店の状況と対応について (2) 海水浴場設置における本市の対応について
18	吉田 淳基	1 市長の政治姿勢について	(1) 未来に求められる市政運営について
19	平川 和美	1 誰もが暮らしやすいまちへ	(1) 児童生徒の通学支援について（教育部） (2) ヤングケアラー支援について（教育部） (3) 女性支援について（教育部）
20	桜井 直人	1 スポーツ推進施策について	(1) 市内スポーツを活性化させるための環境整備について（生涯学習部）
21	竹村 雅夫	1 だれひとり取り残さないまちづくりについて	(1) 「子供・若者育成支援推進大綱」を踏まえた子ども・若者支援について（教育部） (2) 「大綱」の掲げる個別課題への支援について
22	柳沢 潤次	1 行政の民間委託化について	(1) 窓口の民間委託化について (2) 生活保護業務の民間委託化について
		2 藤沢市のまちづくりのあり方について	(1) 地域公共交通のあり方について (2) 長後地区のまちづくりについて
23	原田 建	1 市長の政治姿勢について	(1) コロナ禍での市民生活への対応について（教育部） (2) 村岡新駅について